

令和6年度 浜松市立和地小学校

## 第1回 学校運営協議会

令和6年5月16日(木)

13時30分～15時30分

相談室

司会：教頭

※初めに5校時の授業を参観し、子供たちの様子を御覧いただきます。

- 1 校長挨拶
  
- 2 会長挨拶
  
- 3 浜松市教育委員会より  
・新委員任命
  
- 4 議長選出（順番により岡井さん）
  
- 5 熟議（進行：議長）
  - (1) 学校運営の基本方針について（確認）
  
  - (2) 今年度の取組について
    - ・和地っ子応援団の活動について
    - ・情報発信について
    - ・交通安全の取組について
  
  - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
  
  - (4) その他
    - ・本年度協議会の目標について
  
- 6 連絡
  - ・写真について

○ 和地小学校運営協議会組織

委員一覧

会長	宇津山 茂
委員	松木 和見
副会長	田中 恵子
委員	牧田 眞喜夫
委員・学校支援コーディネーター	松尾 隆廣
委員・学校支援コーディネーター	山本 真希
委員	中村 日出雄
委員	岡井 保
委員	高橋 伸幸
委員	西浦 麻里子

学校職員

校長	青島 秀典
教頭	石塚 稚人
主幹教諭・CS担当	野中 信彰
CSディレクター	石野 恵実

○ 本年度の協議会計画

第1回	令和6年5月16日(木) 13:30~15:30
第2回	令和6年7月10日(木) 14:30~16:30
第3回	令和6年10月16日(木) 13:30~15:30
第4回	令和7年2月19日(木) 13:30~15:30

※いずれも5校時(13:15~14:00)の参観後の開始になります。

第2回はクラブ参観になります。

## 1 地域・学校・児童の実態

(創立150周年・創立151年目)

- 浜名湖に面し、川や里山等の豊かな自然に恵まれた地域である。東名高速道路や浜松環状線・館山寺街道等があり交通量も多い。
- 学区は、古くからの和地町、湖東町、大山町、和光町、湖東西に加え、新しく開発された湖東団地、桜台の自治会から成り立つ。団地開発の影響で昭和58年には児童数1076名、平成27年には児童数は998名という大規模校であったが以降減少し、令和6年度は530名(R5比およそ-25)である。
- 令和5年度に創立150年目を迎えた歴史と伝統のある学校である。(R6年度150周年)令和4年度には、CS(学校運営協議会)を設置。熱心な委員の方々を中心に、学校支援の具体が整いつつある。
- 低学年の面倒を見たり、男女ともに仲が良かったり、素直で優しい児童が多い。
- 言われたことにはよく取り組むが、主体的な判断や行動には課題がある。
- 苦しいことや困難にぶつかった時に粘り強く取り組んだり、新しいことに失敗を恐れず挑戦したりして、自分の力で道を切り開こうとするたくましさに欠ける面が見られるが、今後の指導によって改善が期待できる。
- 児童養護施設「わこう」から通学する児童や、発達支援的配慮、個別の学習支援、家庭的環境配慮等が必要な児童が増加している。人との関係の中で傷つきやすい児童も多く見られ、集団に入れない児童、不登校傾向児童は減少してきたが、現在も散見される。

## 2 湖東中校区のめざす子供像 (「湖東中学校区生き生き人づくり推進構想」)

意欲をもって 学び続ける子

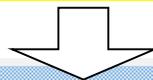
## 3 校訓

和 “人とつながる、人を大切にする、人と高め合う”  
“仲間を信じて 自分を信じて”

## 4 和地っ子宣言 R5年度 児童運営委員会を中心に子供たちが策定

### 和の心

- ・友達を大切にして、みんなと仲良くします
- ・あいさつで人と人との絆を結びます
- ・自分から進んで、いろいろなことにチャレンジします
- ・安全と健康に気を付けて、大切な命を守ります
- ・自分たちの住んでいる地域を大切にします



学校教育目標

自ら考え 高め合う

## 5 学校教育目標と目指す子供像の設定

学校 教育 目標	<b>自ら考え 高め合う</b> ※継続 令和3年度より(4年目) (参考) 令和元年度～2年度 「つながり 高め合う」 平成12年度～30年度 「豊かな心を持ち 自ら学び続ける子」		
合言葉	【徳】 <b>わくわく</b>	【知】 <b>じゅくくり</b>	【体】 <b>こっこつ</b>
目指す子供像	自律し 尊重し合い 共同する子供		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で正しく判断する力を発揮し、時と場に応じた言動をとることができる。</li> <li>・自分や友達の良さに気づき、<b>違いを認め合う</b>ことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いや課題や目標をもち、<b>主体的に学ぶ</b>ことができる。</li> <li>・共に学ぶ良さを<b>感じながら</b>、<b>高め合う</b>ことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身に付け、健康的で安全な生活をする<b>ことができる</b>。</li> <li>・目標に向かって<b>主体的に取り組み</b>、<b>高め合う</b>ことができる。</li> </ul>
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつに力を入れ、あいさつ運動を継続的に行う。</li> <li>○「<b>和地っ子の生活のきまり</b>」の意味・必要性を考えさせ、<b>自発的自律的な行動</b>を称揚する。</li> <li>○<b>教育活動全般でいじめ防止・解消</b>の取り組みを<b>推進</b>する。</li> <li>○友達と協力し互いに高め合う<b>体験</b>を意図的に仕組み、学校行事・特別活動等に目標をもって取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修を通し<b>個別最適な学び・協働的な学びの実現</b>を目指し、授業改善に努める。</li> <li>○学ぶ意欲を高めるために、<b>問い・課題・目標</b>をもたせる単元構想の工夫をする。</li> <li>○互いの考えを深めたり自分の考えを適切に表現したりする力の育成のために<b>協働学習・交流学習</b>を積極的に取り入れる。</li> <li>○情報を活用する力を身に付けるために<b>タブレット</b>を積極的に活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>規則正しい生活</b>を送ることができるよう、保健や給食指導を効果的・継続的に行う。</li> <li>○健康増進や体力・技能の向上に向け、めあてを持たせ<b>継続的な取組を促し積極的に</b>称揚する。</li> <li>○自他の命を大切に<b>する危機回避意識</b>の育成と防災ノートを活用し自助の知識技能の育成を図る。</li> </ul>

## 6 学校校経営の基本方針と3つの柱

学校教育目標の実現のため、学校経営の基本方針と教育活動の3つの柱を挙げる。

### ◆基本方針◆

- ・創立150年の歴史と伝統によって培われた校風と精神を尊重し、**校訓「和」に込められた精神**、**義務教育期において育みたい自律・尊重・協同の精神**を様々な教育活動において反映させることを意識する。児童には、「**わくわく**」「**じゅくくり**」「**こっこつ**」を合言葉として意識させ、徳・知・体の一体的な育成を目指す。
- ・和地小職員は、**信頼(児童から、保護者から、地域から、職員同士)こそ学校運営の要**であるとの認識を共有し、職務を遂行する。そして、和地小職員の創造性・自発性・英知を結集し、**総持ち・一丸となって**和地小に在籍する子供たちに生きる力を育む。

## ◆ 3つの柱◆

### (1) 授業改善

- ・主体的・対話的で深い学びの実現のため、個別最適な学びと協働的な学びの適切な組み合わせを意識した授業改善に取り組む。
- ・特別活動や教科学習において、キャリア教育で育てたい力（つながる力・ふかめる力・みつめる力・みとおす力）を意図した実践を継続的に行う。

### (2) 生徒指導

- ・「ていねい・あったか・あんしん」をコンセプトに、情報共有を大切にし、積極的な発達支持的生徒指導・発達支援をチームで推進する。
- ・児童の特性や発達の段階を踏まえた言葉かけ・対応を心掛ける。
- ・保護者との情報（事実・対応方針等）の共有を図り、家庭と学校の両面で児童を支える。

### (3) 地域・保護者との連携協働

- ・社会に開かれた教育課程とするため、保護者・地域・学区幼保小中の連携を大切にし、積極的な情報発信・情報共有に努める。
- ・3年目となるCSを有効（教員の子供と向き合う時間の確保・学校評価・環境整備等）に機能させる体制を構築する。
- ・地域・保護者・外部の声に謙虚真摯に耳を傾け、相互理解を進めながら、指導に還元する。

## 7 令和6年度教育課程編成におけるポイント

学校経営基本方針及び3つの柱を踏まえ、学校教育目標を具現化する教育課程の編成を行う。特に令和6年度におけるポイントを挙げる。

### ①教育課程の編成全般

教育目標の実現を目指した教育課程であること。同時に、学校の規模縮小を見越した、実効性・継続性・持続性や職員の負担についても配慮した職員組織・年間行事活動計画・日課を示す。

### ②知の部

- ・新教科書対応の年間指導計画の作成
- ・新学習指導要領に対応した授業改善の方向性を研推と連動して示す。

### ③徳の部

- ・150周年、和地っ子宣言、学校行事、児童活動等を連動させた徳育を行う。

### ④体の部

- ・(R7以降陸上大会、水泳大会廃止を受け) 運動部の今後の在り方を示す。  
(体力、身体技能の向上を授業体育で実現していく⇔知の部)

### ⑤事務部

- ・NBへの対応への方向性を示す（NB導入の可否も含む）

# 令和6年度 和地小学校グランドデザイン

校訓

# 和

## 浜松市第3次教育総合計画

「未来創造への人づくり」  
「市民協働による人づくり」

《目指す子供の姿》

- 自分らしさを大切にすること
  - 夢と希望を持ち続ける子供
  - これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供
- ☆キャリア教育を核とした人づくりの推進

## 湖東中学校区目指す子供像

「意欲をもって学び続ける子」

中学校区道徳重点目標

- 「生命の尊さ」
- 「親切・思いやり」
- 「個性の伸長」

## 和地っ子宣言

- ・友達を大切にして、みんなと仲良くします
- ・あいさつで人と人との絆を結びます
- ・自分から進んでいるいろいろなことにチャレンジします
- ・安全と健康に気を付けて、大切な命を守ります
- ・自分たちの住んでいる地域を大切にします

## 学校教育目標

# 自ら考え 高め合う

めざす子どもの姿

わ じっ こ

自律し尊重し合い協同する姿

具体的取組

徳（わくわく）

自分で正しく判断する力を発揮し  
場に応じた言動をとることができる

自分や友達の良さに気づき  
違いを認め合うことができる

- ・あいさつに力を入れ、あいさつ運動を継続的に行う。
- ・「和地っ子の生活のきまり」の意味・必要性を考えさせ、自律的な行動を称揚する。
- ・教育活動の全てにおいて、いじめ防止の取組を推進する。
- ・友達と協力して、互いに高め合う体験を意図的に仕組み、学校行事・特別活動等に目標を持って取り組ませる。

知（じっくり）

問いや課題、目標を持ち  
主体的に学ぶことができる

共に学ぶ良さを感じながら  
高め合うことができる

- ・研修を通し個別最適な学び・協働的な学びの実現を目指し授業改善に努める。
- ・学ぶ意欲を高めるために、問い・課題・目標をもたせる単元構想の工夫をする。
- ・互いの考えを深めたり、自分の考えを適切に表現したりするために、協働学習・交流活動を積極的に取り入れる。
- ・情報を活用する力を身に付けるためにタブレットを積極的に活用する。

体（こっこつ）

基本的な生活習慣を身に付け  
健康的で安全な生活することができる

目標に向かって主体的に取り組み  
高め合うことができる

- ・規則正しい生活を送ることができるよう、保健や食に関する指導を効果的・継続的に行う。
- ・健康増進や体力・技能の向上に向け、めあてを持たせ継続的な取組を促し、積極的に称揚する。
- ・自他の命を大切にする危機回避意識の育成と防災ノートを活用し、自助の知識技能の育成を図る。

キャリア教育「わじっこ」による教育活動

みつめる

ふかめる

つながる

みとおす

何がわかったか

じぶんの考えが深まったか

つたえあったか

これからどう生かすか

ていねい・あったか・あんしん 発達支持的・積極的生徒指導

教育課程を保護者や地域と共有し、つながりを大切にした「連携・協働」

### 保護者とのつながり

- ◇参観会、教育相談等の充実
- ◇ホームページ、たより、さくら連絡網等を活用した積極的な情報提供
- ◇地域・保護者ボランティア等の支援体制の充実

### 地域とのつながり

- ◎コミュニティ・スクールを通した新たな学校運営実践と評価
- ◎地域教材・公共施設（産業）・文化施設等の積極的活用
- ◎読み聞かせ、学習活動等地域ボランティアの活用
- ◎地域の伝統行事、イベント等への参加推進

### 幼稚園・中学校とのつながり

- ☆中学校区の幼小、小中の交流活動の実施、合同研修の実施
- ☆「生き生き人づくり推進協議会」の連携と職員の研修交流
- ☆校区「めざす子ども像」共有による幼小中一貫教育の推進

(様式1)

令和 6年 5月16日

浜松市立和地小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 高橋 伸幸 様

浜松市立和地小学校運営協議会  
会長 宇津山 茂

### 夢育やらまいか事業に対する意見書

令和6年5月16日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

#### 記

#### 1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① キャリア教育を推進し、自分の生き方について考える機会があるとよい。  
⇒6年生の総合的な学習の時間に、地元出身のプロサッカー選手を講師に招き講演をしていただいたり、未来授業で地元の社会人から仕事や生き方についての話をしたりしていただく。
- ② 子供たちは地域ぐるみで育てることが大切である。学校での教育活動に地域の人材が活用できるとよい。  
⇒地域の方に講師やボランティアを依頼し「クラブ活動」「読み聞かせ」「合唱」「地域学習」などの活動に取り組む。

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(和地小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 学校の教育活動について、さらに理解を深め、学校運営に資する活動について熟議を進めていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

第1回の運営協議会で、校長から学校運営の基本方針についての説明があり、教育目標や目指す子供の姿、学校や教職員の様子など、具体的な話を聞くことができた。その上で各委員から意見を出し合い熟議することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

どの委員も和地小学校や和地地区を大切に思っていることが分かり、同じ思いで熟議をすることができた。教職員が多忙な中で「先生方の負担を減らすことが教育活動の充実につながる」との共通認識のもと、教育活動の充実につながる学校支援活動をどのように進めたらよいか熟議をし、登録ボランティア募集につなげることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

今年度から本格的な活動を始めたので、情報発信についてはまだ手探りな感じである。その中で「和地っ子宣言」について新聞に掲載されたり、地区の回覧板で「和地っ子応援団(登録ボランティア)」を募集したりすることができた。ホームページで議事録も閲覧できるが、コミュニティスクールについて知らない保護者は多い。情報発信についてさらなる努力が必要である。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

学校運営に資する活動がより充実したものとなるよう、登録ボランティア制度を軌道に乗せることや、コミュニティスクールを地域や保護者に周知する情報発信について熟議していきたい。

# 学校支援ボランティア（コミュニティ・スクール）保険案内

（令和6年度）

学校管理下においてボランティア活動を行う地域住民や保護者（以下、学校支援ボランティア）については、教育委員会で一括して傷害保険及び賠償責任保険に加入しています。事故等が起きた際は、速やかに各学校または教育委員会へご連絡ください。

## ◎傷害保険

活動中に生じた事故により、死亡または負傷した場合に補償される保険です。

（熱中症、低体温症、脱水症を含む）

※自宅から活動場所までの往復に起きた事故を含みます。

## ◎賠償責任保険

活動中に生じた事故により、他人にけがを負わせてしまったり、物を壊してしまったりし、損害賠償責任を負った場合に補償される保険です。

※自宅から活動場所までの往復に起きた事故は含みません。

	傷害保険	賠償責任保険
補償内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・死亡、後遺障害 500万円</li><li>・入院日額 7,500円</li><li>・通院日額 5,000円</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・1事故 3億円（対人、対物）</li></ul>
事故例	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校の階段から転落し、骨折のため通院した。</li><li>・校外学習に付き添う中で、熱中症になり入院した。</li><li>・学校へ向かう途中で事故にあい、負傷したため手術をした。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・指導中、誤って子供にけがを負わせてしまった。</li><li>・ボランティアの作業で台車を運搬中、駐車場の車にぶつかり傷をつけたしまった。</li></ul>
対象とならないもの （主なもの）	<ul style="list-style-type: none"><li>・故意または重大な過失による事故</li><li>・腰痛など、外的に要因が確認できないもの。</li><li>・脳疾患などの疾病</li><li>・食中毒</li></ul> など	<ul style="list-style-type: none"><li>・故意によって生じた賠償責任</li><li>・天災に起因する賠償責任</li></ul> など

浜松市教育委員会 教育総務課

地域連携グループ

TEL：053-457-2401 FAX：050-3730-8496

Email：renkei@city.hamamatsu-szo.ed.jp

# 学校支援コーディネーター 保険案内

(令和6年度)

学校支援コーディネーターとして活動中に起こった事故について、教育委員会で一括して傷害保険及び賠償責任保険に加入しています。事故等が起きた際は、速やかに各学校または教育委員会へご連絡ください。

## ◎傷害保険

活動中に生じた事故により、死亡または負傷した場合に補償される保険です。

(熱中症、低体温症、脱水症を含む)

※自宅から活動場所(学校外も対象)までの往復に起きた事故を含みます。

## ◎賠償責任保険

活動中に生じた事故により、他人にけがを負わせてしまったり、物を壊してしまったりし、損害賠償責任を負った場合に補償される保険です。

※自宅から活動場所までの往復に起きた事故は含みません。

	傷害保険	賠償責任保険
補償内容	<ul style="list-style-type: none"><li>死亡、後遺障害 1,000万円</li><li>入院日額 10,000円</li><li>通院日額 5,000円</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>1事故 3億円(対人、対物)</li></ul>
事故例	<ul style="list-style-type: none"><li>学校の階段から転落し、骨折のため通院した。</li><li>校外学習に付き添う中で、熱中症になり入院した。</li><li>学校へ向かう途中で事故にあい、負傷したため手術をした。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>指導中、誤って子供にけがを負わせてしまった。</li><li>ボランティアの作業で台車を運搬中、駐車場の車にぶつかり傷をつけたしまった。</li></ul>
対象とならないもの (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"><li>故意または重大な過失による事故</li><li>腰痛など、外的に要因が確認できないもの。</li><li>脳疾患などの疾病</li><li>食中毒</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>故意によって生じた賠償責任</li><li>天災に起因する賠償責任</li></ul> <p>など</p>

浜松市教育委員会 教育総務課

地域連携グループ

TEL : 053-457-2401 FAX : 050-3730-8496

Email : renkei@city.hamamatsu-szo.ed.jp

<交通安全推進モデル小学校として>

実施予定	概要
交通安全啓発品贈呈式	4月4日(木)13:00、交通安全協会浜松西地区支部長より校長へ、帰路交通安全ハンカチの贈呈を行った。
入学おめでとう キャンペーン	4月5日(金)11:00、入学式の下校時、新入学児童に交通安全のちらしと反射材を配付した。
推進モデル校の紹介	4月8日(月)昼の放送で、交通安全担当から推進モデル校に選出されたことの紹介と、交通安全の呼びかけを行った。
推進校指定書の授与式	4月15日(月)8:00~8:20 体育館にて全校児童が集い、代表児童が指定書を受け取り、和地レンジャーから決意を発表した。
交通教室	4月15日(月)1,2年は学校周辺の歩行訓練をした。 4月22日(月)25日(木)3~6年は体育館にて、自転車の点検方法を学んだり、シミュレーターで乗り方の指導を受けたりした。
語る会	CSや地域の自治会の人、交番の方などを呼び、通学路ごとにグループ協議を行い、通学路の危険箇所等について話し合う。6/6 予定
交通安全運動 (春夏秋冬)	各学期のはじめと終わり頃に下校指導をする。 朝の会や帰りの会で担任による交通安全の話。 行事などでは委員会の児童から全校へ交通安全の啓発を行う。
終業式での呼び掛け	1学期終業式、2学期終業式終了後に、交通安全指導員から長期休み中の交通安全について5分程度の話をする。
ポスター・標語募集	夏の課題として標語や交通安全ポスターの募集を積極的に呼びかける。 冬にある交通安全ポスターへの参加も、冬の自由課題として呼びかける。 校内版の交通安全ポスター、標語の募集、選定をを子供主体で行う。
保護者への啓発活動	保護者向けの交通安全啓発動画を全家庭へ配信する。 ※動画は依頼中
CSでの交通安全活動	4月初めの1年下校指導を、地域や保護者のボランティアを募り教員とともに行う。
交通担当職員からの話	毎月、昼の放送で交通安全についての話をする。 4/8、5/1
登校ボランティア	保護者や地域ボランティアによる旗振りや街頭指導を行う。

<報告>

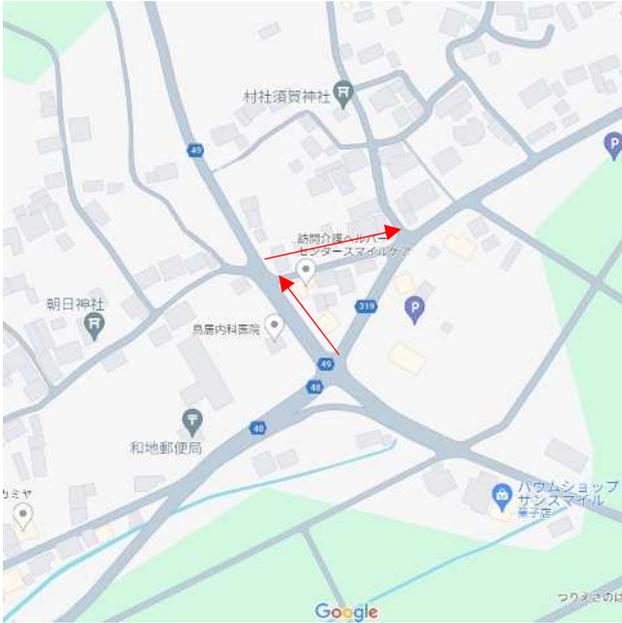
○協働センター前の道路整備要望書を提出

・横断歩道の引き直し ・運転者に注意を促す路面標示 ・グリーンベルト ・ラバーポール

<検討>

○すじかい橋交差点 東の歩車分離歩道化による通学路の見直し

すじかい橋交差点東 新歩道完成による  
通学路の変更の検討



地図



新歩道



現在通学路  
すじかい橋交差点北進



現在通学路  
北進後、右へ曲がる